



「Hofu Tenman-gu Shrine worshipping Sugawara Michizane is the first Japanese tenman-gu shrine built about 1,000 years ago. There is a pine tree on the left in the entrance of Hofu Tenman-gu Shrine after we pass through the torii. This pine tree is called Tohrimatsu “通り松” and its pronunciation is very similar to Tohrimasu “通ります” in Japanese. It means that you can pass the examination.

This Shrine is called “God of the study”, and many examinees come here every year, but it is also said that if you pray without going through the side of this pine, your dream does not come true. It is also bad that you take a shortcut by car instead of going up stairs by your own foot.

There is a tea house called “Hohsho-an” 芳松庵 in the middle of the stairs. You can receive service of the tea ceremony only for 500 yen here and enjoy the beautiful Japanese garden especially in spring or fall. I strongly recommend it. If you sit on Tatami near the garden and keep your heart clean and calm with closing eyes, maybe you can go into the spiritual zone of Zen.]

昨年の約半年間の講義と実習、そして口頭試問の結果合格できた地域通訳案内士(英語)は、その名の通り、通訳業務を行って良いエリアが限定されている。私に許されたエリアは、山口市、萩市、防府市、宇部市、山陽小野田市、美祢市、そして島根県津和野町である。萩往還は萩、山口、防府市にまたがるが、いずれも許可エリア内なのでガイド可能だ。実はこの6市1町は昨年開催された「山口ゆめ回廊博覧会」の対象エリアだったところである。この博覧会に合わせて通訳を養成しようということで3年前から講習と試験は始まっていた。私はその3期生に当たる。残念ながら博覧会本番の昨年はコロナ禍で思うように集客はできず、私の萩往還ガイド実績も前半の8回のみで、もちろん海外からのお客様はゼロである。しかし、コロナが落ち着いてくれれば(現状を鑑みると簡単にはいきそうもないけれど)、2019年のように、日本のメジャーの観光地に飽きたインバウンドの方々が再び萩往還を訪れてくれると信じている。そのための資格取得だった。我ながらこの歳にしてよく勉強したものだと思う。上記の英文は、天満宮を解説する導入部分の説明用として書いたもの。繰り返しになるが、今はこのコロナが上手く収束するか、それとも、簡易で効き目抜群の特効薬が出てくるか、そんな日の一日も早いことを祈るのみである。(2022.1.26 記)



イラストでたどる 萩往還 34 防府天満宮

菅原道真を祀る防府天満宮は、約千年前に創建された日本で最古の天満宮である。道真公が学問の神様と言われることから毎年多くの受験生が合格祈願に訪れる。萩往還沿いにある大鳥居をくぐると、左手に「通り松」と呼ばれる縁起の良い松がある。「通り松」に通ずるためだからである。受験生の正しい参拝の手順は、この松の脇を必ず通り、続いて58段の階段を歩いて上って本殿で祈願するというものである。間違っても車でショートカットして本殿に行くのはダメだそうだ。階段の中には茶亭・芳松庵がある。ここでは抹茶のサービスが受けられ、縁側に佇み心静かに春秋の美しい眺めを楽しむことが出来る。是非お勧めしたい場所である。

文イラスト|| 古谷眞之助